

愛鷹小中一貫教育目標(15歳の姿)
志を持ち たくましく生きる人

◆ふじのくに「有徳の人」づくり ◆沼津市「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」

中3
中2
中1

自らの力を精一杯発揮し、目標に挑戦して達成する喜びを味わい、社会で活躍する志を育む。

- 【小中共通課題】
- ・人間関係調整力
 - ・基本的な生活習慣
 - ・家庭学習習慣
 - ・自己有用感
 - ・学習意欲
 - ・対話力

小6
小5
小4

人との関わりを通して、学ぶことの楽しさや、人のために役立つことの充実感を味わい、夢や希望を持てるようにする。 Dream♪

小3
小2
小1

自分でできたことや仲間とできたことへの満足感を味わい、自立への基礎を築く。

愛鷹中学校教育目標
夢に向かい 心豊かに 自ら学ぶ

愛鷹小学校教育目標
～「できた」がいっぱい 愛鷹小～

学校経営の基本方針

- (1) 子供の今を理解し、将来の自立に向けてどの子も支える。
- (2) 高い人権意識のもと、望ましい社会性の獲得を目指す。
- (3) 全員が課題意識をもって参加し、認め合える授業をつくる。
- (4) 目標の連鎖を意識した全校での取組を推進する。
- (5) 不祥事(体罰・暴言・セクハラ等)『0』の信頼のある学校をつくる。

目指す 鷹の子の姿

- (1) 進んであいさつができ、人との関わりを通して明るく生活する子
- (2) 人のことを大切に聞き、自分の思いや考えを素直に表現できる子
- (3) 相手を思いやる言動ができ、役立つ喜びを感じられる子
- (4) 自他の命を大切に、めあてに向かって忍耐強く取り組む子

あ かるくせいかつする子

し っかり べんきょうする子

た すけあい おもいやる子

か らだをきたえ まもる子



創立148周年

授業づくり部 し

- ① 共に関わり合い、「わかった。」「できた。」と達成感を味わう子 80% 1-1-1(1)
- 子供から学習問題が生まれ、考えを深める授業
 - chromebookを活用し、意見を出したりまとめたりする機会の設定 1-1-3(1)
 - 言語科の授業の充実(他教科関連・思考ツール) 1-1-2(1)
- ② 基礎的基本的力を身につける子 85%
- 基礎学テストの継続 1-1-1(1)
 - 家庭学習カードの活用
 - AIドリルの活用 1-1-3(1)
- ③ 読書をする子 80%
- 読書推進と図書館活用
 - 週1回全校昼読書の設定
 - 学年別必読図書の推進
 - 家庭読書の啓発 1-1-1(2) 1-2-4(2)

健康づくり部 か

- ①【体育】自分なりのめあてをもって運動する子 90%
- 身につけさせたい力を明確にした授業の推進 1-3-1(1)
 - 学習カードや指導方法の共有化 1-3-1(2)
- ②【保健】「早寝・早起き・朝ごはん」ができる子 80%
- 早寝の推奨(家庭学習カード就寝時刻記入) 1-3-2(1)
 - 手洗い、うがいの励行、歯の治癒率の向上
- ③【給食】望ましい食習慣を身につける子 85%
- 食事のマナーの継続的指導 1-3-2(2)
 - 計画的な食育授業の推進(各学級年1回)
 - 食育の推進
- ④【安全】安全に気をつけて行動できる子 95%
- 交通安全ゼロメーター(小中共通)の実施
 - 緊急対応訓練(エビペン、AED等)の実施
 - 防犯、防災訓練の効果的な実施
- 1-2-2(1) (2) (3) (4)

学校経営目標

認め合い 共に伸びる
～誰もがやりがいを感じる学校組織～

道徳教育の重点

- A-(1) 善悪の判断・自律・自由と責任
- B-(6)(7) 親切・思いやり・感謝

GIGAスクール構想に基づくICTの活用

あ

た

心づくり部

- ① 学校に行くのが楽しい子 80%
- いじめの未然防止(定義の啓発・SSTの実施)
 - 早期発見・早期対応 (ハートオープン週間・情報共有・スクリーニング) 1-2-3(3) 2-2-3(3)
- ② 約束や決まりを守ることができる子 80%
- 「ほめて認める生徒指導」の推進 1-2-3(1)
 - 「おしえてやらせて 価値づける」指導の推進 1-2-3(1)
 - 「愛鷹小の約束」の共有 1-2-1(1)
- ③ みんなのために活動できる子 80%
- 異学年交流の充実 1-2-1(2)
 - 互いに認め合う場の設定と「ありがとうカード」の活用 1-2-3(1)
 - 全校参加の委員会による特別活動
- ④ あいさつができる子 80%
- 全校統一のあいさつ指導 1-2-1(1)
 - 委員会による特別活動 1-2-1(2)
 - 企画委員会と中学校生徒会の連携 1-2-4(1)

チーム学校・コミュニティスクールの充実

- 支援員やSC・SSWを活用し、子供たちの集団適応を図る。 1-1-3(1) 2-2-2(1)(2)
- 放課後学習支援員を活用し、3年生の基礎学力向上を図る。 1-2-3(2) 2-3-3(1)
- 総合的な学習の時間等で、地域人材を活用する。(茶・米・福祉等)
- PTAや地域コミュニティとの協働を推進する。 2-1-2(3)
- スクールサポートスタッフを活用し、児童に向き合う時間を確保する。 1-1-3(1) 2-1-2(3)
- 幼保小連絡会を活用し、児童理解と、幼保小の連携を図る。
- 読み聞かせや図書館等の地域ボランティアの力と声を生かす。
- 学校だより、HP、メール配信を活用して、タイムリーに発信する。